

「特別支援教育に関する実践研究充実事業」 県立特別支援学校学校図書館リニューアル等事業

広島県 広島県立広島中央特別支援学校

基本データ

所在地	広島市東区戸坂千足 二丁目1番4号
児童生徒数	50人
教職員数	83人
蔵書数	7,034冊
年間貸出冊数	1,277冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】バリアフリーの取組

【活動のねらい】

- 学校図書館を整備し、視覚障害者の読書環境の充実を図ることで、幼児児童生徒（以降「生徒等」と記す）の言語活動を向上させ、主体的・対話的で深い学びの育成を図る。

取組・活動の概要

- 学校図書館の環境について、自校の教職員及び全国の視覚障害特別支援学校教職員にアンケート調査をし、実態を明らかにする。
- 日本点字図書館がシステムを管理し、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営を行っているサピエとの連携により、情報化の推進に取り組む。
- 学校図書館の環境に関する調査の結果を根拠とした学校図書館司書の人的配置と具体的な業務内容について整理する。
- 対話的な学びの一つとして「本との対話」を位置付け、学習した知識を活用できる思考力を育てる授業づくりについて提案する。

取組・活動の工夫や特徴

- この取組において明らかになった視覚障害がある生徒等に適した読書環境及び主体的に学ぶ力を育成する具体的な取組を全国の関係学校及び施設に発信する。

(1) 環境

- 幼稚部、小学部低学年、知的障害を伴う児童生徒が利用しやすい絵本図書館を別設した。
- 高さ150cmの木製書架に変更し、小学部の児童でも容易に手が届くようにした。
- 入口から館内全体が見渡せ明るい雰囲気になるよう、書架の数及び向きを変更して、照明をLEDに変更するとともに、くつろげる雰囲気

の中で落ち着いて読書活動ができるよう、床をカーペットにした。

- 高等部普通科の生徒が図書館内の壁面の一部を塗装する作業を行った。



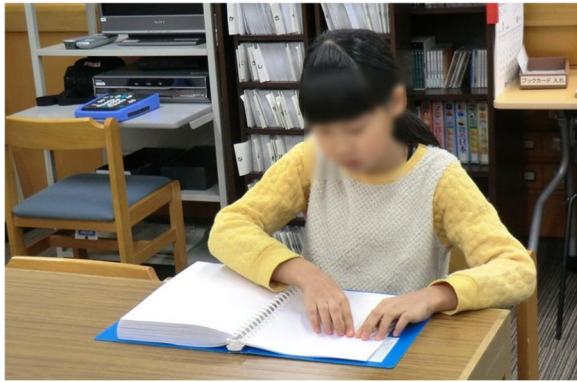
リニューアル後の学校図書館



絵本を置いている絵本図書館

(2) 情報

- 情報化の推進に取り組めるよう、サピエに会員登録して利用できるようにし、学校図書館にICT機器を整備した。



サピエからダウンロードした点字本を読む様子

取組・活動の成果や今後の展望

- 令和元年10月1日リニューアルオープンした。
- 年間貸出数が、平成29年度872冊から、平成30年度1,277冊に増加した。(令和元年度703冊 ※12月現在)
- サピエを利用した点字図書は、84冊のダウンロードがあった(令和元年12月現在)。
- リニューアル後にアンケート調査を実施し、図書館を利用した生徒等の96%、教職員の98%から良かったという肯定的な回答を得た。
- 「①今まで以上に読書をしたいと思う」「②今まで以上に調べ物をしたい」という項目においても肯定的な回答が①85%、②81%に達した。

